

こういう市史を読みたい!

☎生涯学習課 和光市史編さんプロジェクトチーム

☎424-9119

前回の和光市史が完結したのは、バブルの崩壊、株価・地価の暴落が起きる直前の昭和63年です。

市制10周年記念事業として、「市史編さん室」を設置して市史編さんに取り組んだ昭和53年は、日中平和友好条約を調印した年です。

編さんを進めていた時期は、第2次オイルショックを経ながらも、実質国民総生産は右肩上がり成長していた時代です。

大和町が和光市となったのは昭和45年です。前身の大和町になったのは昭和18年で、新倉村と白子村が合併して、町役場は旧白子村役場(現在の白子コミュニティセンター)に置かれました。

また、江戸時代のはじめの和光市域は、上新倉村、下新倉村、下白子村から成り立っていました。ちなみに、上白子村は現在の練馬区に入っております。

和光市になって既に50年が経とうとしています。

時代は流れ、人口は増えて、外かく環状道路の市内縦断など街並みは様変わりし、人々の生活も大きく変化しました。

新しい市史に必要なものは何でしょうか。

「和光市史」を作成する上で、市民の皆様から、こういう市史を読みたい、こんな資料を持っている、こんな話を知っている等の和光市に関する情報があつたらぜひ提供してください。ご連絡をお待ちしています。

既刊の「和光市史」の一部と「図説和光市の歴史」は、和光市デジタルミュージアム「和光市歴史の玉手箱」でご覧いただけます。まだ読んだことがない方は、ぜひご覧ください。

和光市デジタルミュージアムダウンロードページ▶
<http://rekitama-wako.jp/museum/download/>



▲荒川にかかる昭和30年代の(旧)笹目橋。台風などの増水の際には水面下に潜ってしまう冠水橋

